



ルーム・トゥ・リードは小学校と協力し、この写真のタンザニアの少年のように、低学年でも関心を持ち、楽しみながら識字力を高められる良質な本を教室内に揃えられるようにしています。

機会の格差をなくす：サブサハラ・アフリカにおける学習ニーズへ迅速に対応するためのアプローチ

世界最大の人口数を抱える地域でありつつも、学校に通えない子どもたちの割合が最も高いサブサハラ・アフリカ地域では、若年層が増加する中で、質の高い教育を受けられるようにするための体系的な改善が急務となっています。近年では特に、学校閉鎖、社会不安、地域災害によって学ぶ機会が妨げられており、サブサハラ・アフリカ諸国の教育状況は深刻です。サブサハラ・アフリカに住む子どもたちの90%は、10歳になっても簡単な文章を読むことができません。これは世界で最も厳しい教育格差です。早急かつ広範な解決策がなければ、全世代、そして地域社会全体の未来が、不平等の循環を永遠に断ち切ることができないリスクに晒されることになります。

質の高い教育を受ける可能性が最も低い生徒に投資することで、彼らの将来のすべてを変える可能性が生まれます。

ルーム・トゥ・リードについて

2000年に設立されたルーム・トゥ・リードは、世界規模の非営利組織であり、識字教育プログラムとジェンダー平等（女子教育）プログラムを全世界で設計・実施し、歴史的に疎外された地域社会に住む子どもたちが質の高い教育を得られるよう体系的な改善に取り組んでいます。こうした重要な活動の中心にある考えとは、初等学校の年齢の子どもたちが質の高い識字学習や本などの教材に囲まれ、支援を受けられる状況があれば、また、中等学校（中退する可能性が最も高い年齢）の少女達が、有害なジェン

ダー規範に立ち向かうための自信と技能を獲得し、学校に留まって夢を追求すると主張できる状況があれば、**教育の結果は著しく改善する**というものです。

サブサハラ・アフリカにおけるルーム・トゥ・リードの活動

ルーム・トゥ・リードのアフリカ大陸での活動は、2006年に**南アフリカ**で始まり、その後2012年に**タンザニア**へと展開しました。南アフリカとタンザニアでの成功によって、ルーム・トゥ・リードは、**ウガンダ**、**ザンビア**、そして最近では**ルワンダ**にも活動の一部を拡大しています。この地域の教育機関における重要なニーズを踏まえ、ルーム・トゥ・リードは、地域および国の政府の教育省や、他のさまざまな教育機関の信頼できるパートナーの役割を担い、アフリカ大陸全土の学校教育を通じて非識字の問題とジェンダーの不均衡を終わらせるという共通の目標に立ち向かっています。特に2023年には、ルーム・トゥ・リードと教育開発センターは、USAID（アメリカ国際開発庁）のルワンダ支部の選定を受け、ルワンダ全土における学生の識字率向上を目的とした、児童書と学習資料の活況ある出版業界の育成を目指すプロジェクトを数年にわたり主導いたしました。

課題

今日、質の高い教育を受けられる可能性が世界で最も低いのは、サブサハラ・アフリカに住んでいる子どもたちです。ユネスコによれば、**10人中9人近くの子どものが、基礎的な読み書き能力を得られずに初等学校を卒業しており**、この割合は学校閉鎖、経済危機、気候関連災害によって低下しています。さらに、最近のユネスコの報告書では、ジェンダー平等を初等・中等教育ともに達成した国はサブサハラ・アフリカに見つからないと指摘されています。特に少女達は、学業を修了する上で立ちはだかる社会的、経済的、危機的状況に関連した障壁に常に直面しており、世代間の不平等のサイクルが続いています。



サブサハラ・アフリカ全体の子どもたちは、質の高い教育へのアクセスが不十分であるが故にあまりにも頻繁に人生の機会が狭まっています。たとえば、ウガンダの小学生の場合、学校に通えていない初等教育の年齢の子どもの割合は**50%以上**であり、生徒が中等教育に進むにつれてこの割合も増加しています。ルーム・トゥ・リードは、教育システムを多角的に支援することで、子どもたちの学習基盤をより強固なものにしています。ウガンダでは、ルーム・トゥ・リードは現地語の児童書を出版しています。左の写真のように生徒に児童書を提供できる教室があまりにも少ないのです。ルーム・トゥ・リードは、このようにより多くの子どもたちが質の高い教育を受ける機会を確保しています。

ルーム・トゥ・リードは学校現場で直接活動し、データに基づくアプローチを通じて教員研修や学生の技能を著明に向上し、1年生と2年生（南アフリカでは間もなく3年生も含む）の識字カリキュラムを改善しています。ルーム・トゥ・リードの学習リソースは、アフリカの様々な言語や方言を中心に設計されており、また低学年に適した学習方法にも対応しています。例えば、いくつかのアフリカの言葉は言語構造が複雑なため、生徒が複数の音節の発音を練習する時に、教師は生徒に腕を使うように促し、腕

に沿って一つずつ音を発音することで、肩から手に向かって言葉を組み立てていく練習をします。ルーム・トゥ・リードは、このような教師の教え方や手引きを確実に支援できるように、識字学習の進行役を任命し、ルーム・トゥ・リードのベスト・プラクティスに関して、最高品質の教材に沿った継続的な教師研修と指導を行ってまいります。

現地語による良質な児童書へのアクセスを向上させる

現地語で書かれた本は、アフリカ大陸全土で極めて希少なリソースです。より多くの子どもたちが現地語の本を用いて学べるようにするために、ルーム・トゥ・リードは地元の作家やイラストレーターを対象とした研修を促進し、幅広い書籍の開発・出版を支援し、子どもたちが興味を持てる、理解できる言語で書かれた本を手にとれるようにしています。これらの出版努力の中には、音読練習本の開発もあります。これによって低学年の生徒は、授業で練習する文字や音を理解するために、韻を踏む言葉や繰り返し言葉といったツールで学習を強化できるようになります。結果、年少の学習者が絵本にアクセスする機会をルーム・トゥ・リードが拡大し、識字力の発達と訓練が可能になるだけでなく、その過程を楽しめるようにもなります。



サブサハラ・アフリカの学校では、初等学校の教師は十分な訓練を受けておらず、50人以上の生徒を抱えて設備の良くない教室で授業を行います。さらに、生徒が異なる言語を話し、学年が混ざることもしばしばあります。ルーム・トゥ・リードの活動は、状況に応じた適合性がある教材や研修の開発に焦点を当てており、このような背景をもったクラスで子どもたちが読み書きを効果的に学べるように努力する教育者の努力を支援するためのものです。

ルーム・トゥ・リードは2021年にウガンダ読書協会と提携し、ウガンダを代表する現地語の一つであるルガンダ語の絵本3,000冊を全国の初等学校に配布しました。こうした本は多くの生徒にとって、現地語の本として初めて入手できた一冊となりました。2021年以降、このパートナーシップは成長を続け、現在では100,000冊以上の本が学校に配布されています。

学校に少女達を留めるための、有害なジェンダー規範との闘い

女子教育プログラムを通じて、中学校の思春期の少女達は、メンターシップ、ライフスキルの教育、物質的支援、家族や地域社会との関わりといった包括的な支援を受けられるようになり、より多くの少女達が就学できるようにするための階層的な支援体制が構築されています。現在、ルーム・トゥ・リードはタンザニアでこのプログラムを実施しています。ルーム・トゥ・リードはタンザニアで唯一、思春期の少女たちを支援するための独立したライフスキル教育を提供する組織で、彼女らが自分の教育や未来に関して意見を主張するために必要な知識やツールを開発しています。このプログラムはこれまでに目覚ましい進歩を遂げており、新たな地域でも実施できる大きな可能性を秘めています。最近のある研究では、2014年に18%だった中学校の中途退学率が、2021年にはわずか3%へと低下していました。

教育格差をなくすための全体的な変化を提唱

全ての活動にわたってルーム・トゥ・リードが掲げる究極の目標は、全国的に規模を拡大し適用することができるベスト・プラクティスを示すことです。したがって、ルーム・トゥ・リードの活動は、反応するよりむしろ予防に回ることで、教育分野で異なる役割を果たすものであり、教育システムを前向きに変化させ、すべての学生の学習を支援する上で現在の課題を回避し、最終的には取り除くものです。ルーム・トゥ・リードは、プログラムを地区や地方自治体に紹介し、ベスト・プラクティスを学ぶ「デモ」校を設立するとともに、国の教育基準やガイドラインの整備、初等・中等学校のカリキュラムの強化などを政府と協力して進めています。例えば、タンザニアでは、ルーム・トゥ・リードは1年生および2年生を対象とした新しい全国識字カリキュラムの作成を支援しました。また、ルーム・トゥ・リードのライフスキル教育ガイドラインがタンザニア教育研究所から初期承認を受けたため、この新全国識字カリキュラムがタンザニアの各学校において実施および改善される道筋がつけました。

世界中のリソースが不足している地域では、初等・中等学校の低学年の生徒が質の高い教育を得るために多くの障害に直面しています。タンザニアのナイファットは、親の別居や家庭での苦難を乗り越えて育ったため、音楽が彼女にとってはしばしば感情面での避難場所でした。2020年、彼女の教育の道に、ルーム・トゥ・リードの女子教育プログラムが加わりました。ソーシャルモビライザー（地域社会の女性メンター）と友達が彼女を勇気づけた上、技能を磨き自信を築くよう励ましたことで、彼女の大好きな音楽は一つの夢へと変わりました。

ナイファットは女子教育プログラムを通じて自身のライフスキルを築き続けています。現在では、*She Creates Change*（少女達が未来を変えていく）というルーム・トゥ・リードのマルチメディア・ストーリーテリング・イニシアチブを通じ、世界中の青少年に向けて、自身のレジリエンスと情熱の物語を共有する6人の少女の1人となっています。ナイファットと、世界中の仲間たちを勇気づける物語を持つ他の素晴らしい少女たちについて、そして、*She Creates Change*（少女達が未来を変えていく）のトレーラー動画は、[こちら](#)から確認ください。



国連の「持続可能な開発目標」第4の達成と今後に向けて：「質の高い教育をみんなに」は、サブサハラ・アフリカにおける教育への緊急かつ重要な投資なくしては、達成できません。アフリカでのルーム・トゥ・リードの活動に対するあらゆる投資が、子どもたちが質の高い教育にアクセスできるようにするための重要な支援となります。今後、数年間の主要な優先事項は以下のとおりです。

1. 教員が効果的な指導員やメンターとなるための準備

サブサハラ・アフリカでは、教員が教鞭をとる前段階で技術と知識を向上させさせることにより、生徒の学習成果が何世代にもわたって変わる可能性を秘めています。ルーム・トゥ・リードは、地域全体で教育者のための訓練が優先的に実施されるよう、地方と国の両方のレベルで活動しています。これによってルーム・トゥ・リードや自治体の教育省を通じて教材と専門知識の支援が教員に届くようになっていきます。例えば、南アフリカでは、この活動のための資金によって、教

員がキャリアの開始前に受講する研修を強化することが見込めます。ルーム・トゥ・リードは2023年にヨハネスブルグ大学(UJ)およびプレトリア大学(UP)と提携し、教育学士号を取得する大学生を対象にいくつかの講義を行いました。これらの講義の中は、養成課程にある教員が300名以上も参加したものもあり、低学年に効果的に読書を教える方法について、将来教員となる者のスキルを構築することが中心となっています。これらの研修に対する最初のフィードバックは信じられないほど肯定的だったため、2024年には、UJとUPとさらにいくつかの大学で養成課程にある教員を対象に、ルーム・トゥ・リードは同様のセッションを継続することができています。このため、資金調達の可能性も継続しています。皆様の支援によって、ルーム・トゥ・リードが直接行うプログラムだけではなく、学習の体系的な改善を目的とした、このような重要な機会への投資を行うことができるでしょう。

2. 書籍や質の高い学習教材へのアクセスの拡大

サブサハラ・アフリカは、読み書きの方法を学ぶにあたって世界で最も多様性に富んだ、そして挑戦的な場所の一つです。学校では複数の言語が教えられることも少なくない上、さらに多くの方言が家庭や地域社会で話されています。地域の言語や公用語を使うため、子どもの言語体験はそれぞれユニークなものになります。ルーム・トゥ・リードの重要な優先事項は、低年齢の学習者とその家族が使い慣れた言語で書かれた本を手にとれるよう、現地で有力な書籍出版部門を開発することです。これは識字力を早期支援するために不可欠な要素です。ルーム・トゥ・リードは、2024年に現地の作家やイラストレーター、さらには出版社に支援を拡大し、児童書開発において成功事例を整えることを目指しています。この活動はかなりのニーズに応えられるものですが、深刻な投資の不足も招いています。南アフリカでのこの活動への資金援助は、セペディ語やイシズルー語など10の異なる言語で書かれた未就学児を含む早期学習者向けのノンフィクションの本、ワークシート、手引き書等、学習教材の開発を支援することになります。**シツォンガ語**は、ルーム・トゥ・リードが識字教材を翻訳した中でも最も新しく翻訳された言語です。**タンザニア**では、政府主導の「国立絵本制作ガイドライン」発足をルーム・トゥ・リードに支援してほしいと依頼されました。十分な資金を得て、絵本製作におけるルーム・トゥ・リードのベスト・プラクティスを統合するような書籍作家の全国研修を計画しています。また、地域の様々なパートナーと共同出版やライセンス供与のパートナーシップを確立し、児童書市場の質のみならず量においても大幅な増大を目指しています。

3. サブサハラ・アフリカ諸国の政府による国家枠組みとカリキュラムの強化を支援

ルーム・トゥ・リードは政府に信頼されるパートナーとして、教育省と提携し、各国のすべての公立学校で効果を生み出せる国家政策やカリキュラムを更新することで、永続的で体系的な変化を起こせるよう努力しています。2024年、皆様からの投資は、教育危機の解決策を促進する、画期的な活動の重要な資源源となるでしょう。**タンザニア**を例にとると、ルーム・トゥ・リードの識字指導法（音読練習本や教員向け研修など）は、政府によって最新の国家カリキュラムに統合されました。2024年1月に運用が開始した初期段階で、推定で200万人の学習者に効果をもたらしました。また、**ウガンダ**では、ルーム・トゥ・リードは教育スポーツ省やその他の地方組織と協力し、ウガンダの主要な2つの方言であるルガンダ語とルニャンコレ・ルキガ語による1年生用の

本と教員ガイドを作成しました。これらの活動は、何百万人もの学生に恩恵をもたらす可能性があります。2024年はルーム・トゥ・リードが地方および国レベルの教員研修を適切に支援できるようにするための投資を増やす必要があります。また、教育水準の向上に向けた政府の努力に対しても、継続した支援と助言を行う必要があります。

一緒に活動しましょう

世界中の生徒たちが、学ぶという固有の権利を行使する際に前例のないほどの障壁に阻まれる経験をしており、直ちに支援をしなければ悪化が避けられない状況です。現在、推定2億5000万人の子どもたちが学校に通っておらず、その半数以上が少女達で、その大多数はサブサハラ・アフリカ地域に居住しています。いま介入の機会を逃すと、子どもたちは学ぶ権利を失ってしまいます。そして、大人になって、充実した生活を追求し、十分に社会参加することに関して計り知れないほどの困難に直面することになるでしょう。

サブサハラ・アフリカにおける成果

2022年現在

7,400万名以上 これまでに恩恵を受けた子どもたち	2,100名以上 2022年にトレーニングを受けた教員と司書	9,800名以上 識字教育プログラムを通して繋がった学校の累計
1,800校以上 女子教育プログラムに参加し、タンザニアの中学校を卒業した生徒	210冊 5カ国で現在までに出版したオリジナル書籍	5,500万本以上 学校や生徒に配布された本

ルーム・トゥ・リードを選ぶ理由

ルーム・トゥ・リードの成功の源には、他とは異なる戦略の融合があります。これによって私たちの独自のプログラムは、教育部門における最高の教室での教育モデルとなっています。ルーム・トゥ・リードは、質の高い教育が、持続的で多面的な支援の結果として提供されることを理解した上で、生徒が学びの過程を前向きに捉えられるような教材や支援者を提供し、充実した人生を送る準備ができるように支援をしています。

ルーム・トゥ・リードの識字教育プログラムに恩恵を受けた子どもたちは、仲間に比べて**2倍から3倍も速く読める**だけでなく、理解力も**87%高い**です。

南アフリカでは、**12,000校以上の学校**が、「リーディング・チャンピオンズ・プロジェクト」の恩恵を受けています。ルーム・トゥ・リードは、同イニシアチブにおける政府の主導的パートナーとしての役割を果たし、ルーム・トゥ・リードの識字教育プログラムによって情報提供されたプロジェクトのマニュアルの作成を支援しました。

ルーム・トゥ・リードのスタッフは**98%**が、勤務する国の出身者です。

ルーム・トゥ・リードが提供する質の高い読書教材は、どこでも利用可能です：色鮮やかな、文化的に親しみを持てる、現地語で書かれた本を手にとれるようになれば、子どもたちは識字能力をさらに高めるよう励まされることになり、教育部門で最も高い学習成果を生み出すこととなります。どこに住んでいようと子どもたちが本を読めるように、ルーム・トゥ・リードのオンライン・ストーリーブック・プラットフォームである[リテラシークラウド](#)では、**10種類以上のアフリカ言語で書かれた本**が利用可能です。このデジタル・プラットフォームは、ルーム・トゥ・リードが活動する国々で政府の関心呼びました。これによってリテラシークラウドでの支援を行う機会や、リテラシークラウドを国のウェブサイト統合させる機会が生まれ、サブサハラ・アフリカ全域での子どもたちの学習に対するルーム・トゥ・リードの支援は更に広がりました。

ルーム・トゥ・リードは信頼できる政府のパートナーです：長期的かつ体系的な変革には時間と協力が必要で、とりわけサブサハラ・アフリカのように広大な地域では顕著です。このため、ルーム・トゥ・リードのモデルは、最初からパートナーとして政府を意図的に巻き込んでいます。早期に政府と提携することで、成功事例の普及を迅速にするための信頼関係を育むことができ、ルーム・トゥ・リードは連携してイニシアチブを取ることが可能になります。このアプローチはスケール化を実現するだけでなく、成功にもつながります。例えば、ルーム・トゥ・リードは南アフリカで10年以上プログラムを提供するという成功を収めた後、政府の国家教育協力基金が管理する重要なイニシアチブの主導的パートナーおよび訓練機関に選出されました。このプログラム「リーディング・チャンピオンズ」は、若者の失業率と識字率の低さの両方に取り組むことを目的とし、地域の学生を支援するリーディング・チャンピオンとして若い世代が貢献できるような教育を提供します。

プログラムは地域社会の代表者である現地のスタッフが主導しています。ルーム・トゥ・リードの地域活動チームは、地域社会との信頼関係を保っています。地域でのこうしたプレゼンスによって、ルーム・トゥ・リードは地域の学生のニーズに合致したプログラムを考慮することができ、また危機的状況が発生した際には、学校が閉鎖中でも、子どもたちに別の学習教材や学習方法を与える迅速な対応が可能になります。